

# 士別地域の大地の成り立ち



士別周辺の地域では、幅広い時代の多種多様な岩石や鉱物が観察され、地質学的に貴重な場所として古くから研究者に注目されてきました。多様な地質の存在は、当地域が多くの地殻変動を受け、多様な環境を経験してきた場所であることを物語っています。

当地域の地質の最も大きな特徴は、「付加体」や「オフィオライト」など、プレート境界にしか存在しない特殊な地質体が見られることです。「オフィオライト」は、過去のプレート同士の衝突によって地下深部から持ち上げられた、上部マントル～海洋地殻の一連の地質体（地球の断面）です。オフィオライトは士別市温根別で観察され、珍しい岩石が多数見つかっています。また、当地域の西方には中生代の海成堆積物（エゾ層群）が分布し、東方には深海性の付加体堆積物（日高累層群）が分布しており、当時士別市が海溝付近の海洋底であったことが推測されます。さらに、新生代の地質においても、地球温暖化を示す地層が見られるなど、多くの興味深い地質が観察される地域なのです。

